

*QR Newsletter*

## 第四紀通信

Vol.3 No.2, 1996



阿蘇火山中央火口丘起源の火山灰層（研究委員会報告参照）

**Vol.3 No.2****April 1, 1996**

|                |   |                |    |
|----------------|---|----------------|----|
| 1996年度大会第2報    | 2 | 研究集会のお知らせ      | 6  |
| 論文賞候補者の推薦募集    | 4 | 科研費国際学術研究 List | 8  |
| 学術情報センター学会情報公開 | 4 | 評議員会報告         | 12 |
| テフラ研究委員会巡検報告   | 5 | 会員消息           | 14 |

## ■ 日本第四紀学会 1996年大会（総会研究発表会） [第2報]

### 1. 日 程

- 1996年8月22日（木）一般研究発表・評議員会  
8月23日（金）一般研究発表・総会 [終了後懇親会]  
8月24日（土）シンポジウム

### 2. 会 場

- 東京大学本郷構内（郵便番号113 東京都文京区7-3-1）  
8月22～23日 東京大学山上会館2階  
8月24日 東京大学大講堂（通称 安田講堂）  
大会準備委員長：米倉伸之（東京大学大学院理学系研究科地理学専攻）

### 3. シンポジウム

- テーマ：「最終氷期の終焉と縄文文化の成立・展開」  
世話人：米倉伸之（東京大学）、辻 誠一郎（国立歴史民族博物館）、岡村道雄（文化庁）

### 4. 巡 検

- 未定、実施するかどうかも含めて検討中。

### 5. 事務局

- 〒113 東京都文京区7-3-1 東京大学大学院理学系研究科 地理学専攻気付  
日本第四紀学会1996年度大会準備委員会

### 6. 一般研究発表の申し込み

一般研究発表・ポスターセッションでの発表を希望される方は右ページにある「発表 申込用紙」（コピーでよい）に所定の事項を記入の上、「8. 講演要旨の原稿の書き方」にしたがった写真製版可能な原稿及びそのコピー1部を、**6月7日（金）**までに（必着厳守）行事委員会までお送りください。原稿の受理をもって受け付けといたします。一般研究発表・ポスターセッションをあわせて1人一件のみの発表が可能です。発表時間を厳守していただくために、スライド・OHPの使用は合計で8枚以内とさせていただきます。十分な討論時間を希望する方には、ポスターセッションへの申し込みをお勧めいたします。一般研究発表・ポスターセッションともに講演要旨集に2ページ執筆していただきます。

#### 要旨集原稿の送付先

- 〒192-03 八王子市南大沢1-1 東京都立大学理学部地理学教室内  
日本第四紀学会行事委員会 山崎晴雄あて（TEL 0426-77-2592）  
（送付先は準備委員会ではありません。お間違えの無きようご注意ください。）

### 7. シンポジウムの原稿提出

シンポジウムで発表される方は、「8. 講演要旨の原稿の書き方」にしたがった写真製版可能な原稿およびそのコピーに、「発表申込用紙」（コピーでよい）を添えて、**6月7日（金）**までに上記の行事委員会までお送りください。原稿枚数は2ページまたは4ページでお願いします。



## ■ 日本第四紀学会論文賞受賞候補者の推薦について

日本第四紀学会論文賞は会誌「第四紀研究」に優れた論文を発表した会員の表彰を通じて、第四紀学の進歩と本学会の発展を図ることを目的としています。本賞は規定により、毎年、会員の皆様から自薦・他薦によって候補者を御推薦いただき、論文賞受賞候補者選考委員会において候補者の選考と受賞者の決定を行うことになっています。受賞者は6月末日までに決定され、8月に東京大学で開催される1996年度総会で表彰される予定です。つきましては、下記を御参照の上、第2回日本第四紀学会論文賞の受賞候補者を御推薦いただきますよう、会員各位にお願い申し上げます。

1. 選考対象：「第四紀研究」第33巻（1994年）および第34巻（1995年）に掲載された原著論文、短報、総説および特集号の論文。
2. 推薦書類：推薦書類には、推薦者（自薦を含む）、受賞候補者名、受賞候補論文名（巻号頁を明記）、および、推薦理由を記入する。
3. 推薦書類の提出先：〒113 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21内  
日本第四紀学会論文賞受賞候補者選考委員会
4. 推薦書類の受理期限：1996年4月30日（必着）

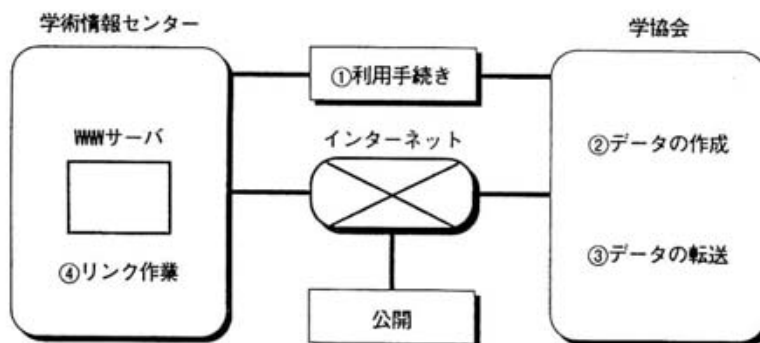
## ■ 文部省学術情報センターのインターネットWWWサーバによる学協会の情報公開について、

近年、大学等においてはインターネットを通してWWW（World Wide Web）による情報発信がさかに行われています。文部省学術情報センター（NASCSIS）では、学術情報の流通の促進を図るため、学協会を対象とした学術情報の発信手段を提供することを計画しています。

第四紀学会では、このような学協会の情報公開に参加するかどうか、またどのような情報を発信していくかなどについて、会員の皆様のご意見をお伺いいたします。

### インターネット（SINET）WWWサーバによる学協会の情報転送の概要（下図参照）

- (1) 利用手続き：学協会は「WWW資源提供サービス利用依頼書」により利用の申し込みを行う。
- (2) データの作成：パソコンなどを使用して、ホームページのデータをHTML形式で作成する。  
図表や写真などを表示する場合はスキャナなどにより電子化する。
- (3) データの転送：インターネット（SINET等）からファイル転送（ftp）により転送する。
- (4) リンク作業：必要により転送したデータのリンク付けを行う。





## 第5回第四紀学会テフラ研究委員会野外集会報告

宮縁育夫（農林水産省森林総合研究所九州支所）

第5回 第四紀学会 テフラ研究委員会 野外集会在、3月1日～3日に熊本・大分 両県において行われた。今回のテーマは「中部九州のテフロクロノロジー」であり、日本の広域テフラの給源の一つである中部九州地域をまわってテフラを観察し、関連する諸問題を現地で討論するために企画された。案内者は小野晃司(応用地質株式会社)、渡辺一徳(熊本大学)、星住英夫、鎌田浩毅(地質調査所)、町田 洋(東京都立大学)の各先生で、地形、地質、土壌学などの分野から53名の参加者があった。

3月1日に熊本を出発し、この日は阿蘇中央火口丘テフラなどの火山灰と広域テフラとの関係を観察した。阿蘇カルデラ内では過去約15,000年間に堆積した20m以上の堆積物が見られるが、その中に含まれる杵島岳・往生岳起源の降下スコリア以外の大部分は中岳の灰噴火の産物とされている。中岳火山の活動は一時的な休止期あるいは静穏期は認められるものの、長期間にわたって灰噴火を継続し、多量の黒色砂状火山灰を周辺地域に供給している。火山灰土と広域テフラの関係については、カルデラ西方で黒ボク中に存在している始良T<sub>n</sub>火山灰(AT)は、カルデラ東方域では褐色ローム層中に認められ、黒ボク層の形成開始時期が地域によって異なっていることが観察された。黒ボクとローム層の生成・保存環境や形成年代の解明に関して現地で討論されたが、多くの問題点が残されている。

第2日目は阿蘇・九重火山起源の大規模火砕流と降下テフラを見学することが目的であった。九重火山山麓には飯田火砕流とplinian噴火の産物である九重 第1軽石が分布している。九重火山はその後噴出した溶岩ドームの集合体であり、溶岩ドームの形成とplinian降下軽石および火砕流の噴出とを繰り返しており、最後のマグマ噴出は約1,700年前であることが最近の研究で判明している。

つぎに竹田市周辺でAso-1,3,4火砕流堆積物を観察した。この付近の地形は台地部とそれを刻む深い峡谷部に分けられる。現在の谷地形はAso-3火砕流堆積後にすでに形成されており、その谷をAso-4火砕流が埋積し台地を覆ったが、谷埋め部は強溶結のため沈下し、Aso-4以前の谷地形を再現しているようである。また火砕流

堆積物の溶結に関して詳しい説明がされ、Aso-4火砕流が非溶結から溶結へと移行する様相、本質レンズのしほり出し現象や今市火砕流の二次流動によるレンズの引き伸ばしなど、たいへん興味深い現象を観察することができた。

宿泊地は2日とも直入町長湯温泉であった。この温泉は強い炭酸泉であることが特徴であり、若干お湯がぬるめであるために長湯するということから、温泉の名前がつけたいらしい。

第3日目は更新世中・前期の火砕流と大分平野の海成段丘などを見学した。まず約90万年前の今市火砕流と約100万年前の耶馬溪火砕流を観察したが、これらはともに九重火山北麓の猪牟田カルデラ起源と報告されており、それぞれ大阪層群中のアズキ火山灰とピンク火山灰に対比されている広域テフラである。そのほか大分県には多くの火砕流が分布しており、庄内町の大分川河床では由布川火砕流(約60万年前)に覆われる神屋敷火砕流と立木状炭化木が存在し、炭化木周囲には煙の化石も見ることができた。さらに大分市一木ではAso-3、海成粘土、砂礫層、鬼界葛原テフラ(K-Tz)、Aso-4との層位関係を観察し、大分平野における段丘と堆積物編年に果たすテフラの意義を議論することができた。

今回の集会においては、数千年前の阿蘇中央火口丘テフラから100万年前の耶馬溪火砕流までの日本の代表的なテフラを観察することができ、さらに大規模火砕流がどのようにして広域テフラへと変化していくのかを議論するよい機会が与えられた。

最後に案内者の先生方、そして町田 洋先生をはじめとする本集会所を企画されたテフラ研究委員会の関係各位に心から感謝いたします。

## およそのルート

- 3/1 熊本-阿蘇カルデラ-波野-長湯
- 3/2 長湯-九重山麓-萩町-竹田-長湯
- 3/3 野津原-大分川-曲・丹生・鶴崎-大分

## ■ワークショップ「地球環境変化とヒマラヤ・チベット山塊の役割」

主催：IGBP/PAGES, 日本大学文理学部自然科学研究所, 日本第四紀学会

コンピーナー：小野有五・遠藤邦彦・岩田修二

期日：1996年7月8日（月）～9日（火）

会場：日本大学会館801講堂（千代田区九段南4-8-24）

（JR中央線、地下鉄有楽町線・都営新宿線市ヶ谷駅下車徒歩3分）

ワークショップについてのお問い合わせ先：

〒192-03 八王子市南大沢1-1 東京都立大学理学部地理学教室 岩田修二

☎ 0426-77-2591 fax 0426-77-2589

### <シンポジウムの趣旨と概要>

ヒマラヤ山脈とチベット高原、いわゆるヒマラヤ・チベット山塊は地球環境に大きな影響を与えている。ヒマラヤ・チベット山塊の環境変化の実態を把握し、その影響を解明することは地球環境変動の全体像を理解するためには不可欠のこととなった。ヒマラヤ・チベット地域の自然は相互に密接に関係している。したがって、ヒマラヤ・チベット山塊の環境変化の解明には、他地域にもまして地球科学諸分野の連携が重要である。わが国でも、多くの研究者がヒマラヤ・チベット地域の研究を構造的に進め、多くの成果が挙げられている。しかしながら研究者相互や研究分野間の情報交換は悪く、得られている情報をお互いに十分に生かしてきいていないのが現状である。とくにフィールドから得られている個別的・具体的な情報が、理論化・モデル化に十分生かされているとは言いがたい。今回のワークショップでは、第四紀末の0-250kaのタイムスケールを中心にヒマラヤ・チベット山塊の地球科学諸分野の最近の研究成果を示し、今後の研究課題と研究の進め方について議論したい。

### プログラム〔予定〕

7月8日（月）午前 開会のあいさつ

第1部 最近の研究のレビュー（事実とその解釈）

I ヒマラヤ・チベット山塊の環境変動

1) 山脈・山塊の隆起

酒井治孝：ヒマラヤ山脈の隆起史・隆起過程と隆起のメカニズム

池田安隆：ヒマラヤ・チベット山塊の削剥過程と隆起のメカニズム

在田一則：コメント（仮）ヒマラヤ・チベット山塊の隆起のメカニズム

中田 高：コメント（仮）ヒマラヤ・チベット山塊の隆起史とそのメカニズム

7月8日（月）午後

2) 氷河変動

岩田修二：ヒマラヤ南面・東南チベット・チャンタン高原の氷河変動

小野有五：北東チベット・パミール・カラコルムの氷河変動

伏見碩二：コメント（仮）氷河群の時・空間構造の変遷：生態学的氷河学の視点から

3) 氷河涵養機構

上田 豊：（仮）ヒマラヤ・チベット山塊での氷河涵養機構

瀬古勝基：（仮）積雪層からみたヒマラヤ・チベットの氷河涵養と水循環

中尾正義：（仮）氷河コアからみたヒマラヤ・チベット山塊の環境変動

II 周辺地域の環境変動

1) タクラマカン沙漠の環境変動史

遠藤邦彦：タクラマカンの河成／風成活動史

印牧もところ：タクラマカンの大縦列砂丘（ドゥラ）とその形成過程

関 順：ロブノールの環境変遷

相馬秀広：タリム盆地における歴史時代の環境変遷

2) その他の地域の環境変動

成瀬敏郎・小野有五：レス堆積物からみた環境変動

中山裕則：(仮)衛星データによるヒマラヤ～中央アジアの環境変動の復原

7月9日(火)午前

Ⅲ 海底・湖底・泥炭コアからみた環境変動

新妻信明：(仮)インド洋の海底コアからみたヒマラヤの環境変動

柏谷健二：(仮)チベット高原中央部・東縁部とバイカル湖の湖底コアからみた環境変動

福澤仁之：コメント(仮)東南アジアと地中海の海底コアからみたモンスーン変動

三浦 修：コメント(仮)雲南省の泥炭コアの花粉分析からみた環境変動

7月9日(火)午後

Ⅳ 気候・水循環の変動とモデリング

安成哲三：(仮)モンスーン変動のメカニズム

大畑哲夫：チベット高原の水循環の変動性

谷田貝亜紀代：(仮)タクラマカン～ツァイダム盆地の降水

上野健一：(仮)チベット高原の積雪とモンスーン変動

小池俊雄：コメント(仮)リモートセンシングからの貢献

阿部彩子：(仮)モデリングに必要な情報は何か？

第2部 総合討論(今後の研究課題と研究の進め方：仮説の提示とディスカッション)  
閉会の挨拶

## ■ 日本水文科学会 1996年度春期学術大会のお知らせ

1.会期：1996年6月15日(土)～16日(日)

2.会場：駒沢大学文学部(世田谷区駒沢1-23-1)

3.日程：6月15日(土) 10時～19時

一般研究発表、シンポジウム、会長講演、総会、懇親会

6月16日(日) 10時～17時

一般研究発表、ワーキンググループ研究会

4.予定シンポジウム

### 「未知」の水を求めて

オーガナイザー 安原 正也(地質調査所)

講演予定内容

- ・巨大な水の大陸－南極氷床－
- ・チベット・ヒマラヤ雪氷圏の水
- ・砂漠の古地下水－その起源と流動－
- ・海底・湧出地下水－あらたな水資源としての可能性－
- ・深部熱水系にはどんな水があるのか？
- ・火山から放出される水－その起源と量－

5.費用：大会参加費 1,000円(学生500円)

予稿集代 1,500円

懇親会費 5,000円(学生3000円)

6.問い合わせ

日本水文科学会庶務委員 杉田倫明

筑波大学地球科学系 sugita@atm.geo.tsukuba.ac.jp

〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1

第四紀研究関連 科学研究費国際学術研究 採択課題リスト

元第四紀研究連絡委員会委員長（第15期） 太田 陽子

第15期第四紀研究連絡委員会では、第四紀研究の教育・研究の現状把握等のため、第四紀関連の科学研究費補助金のリストを作成した。今回ここに掲載するのは、Vol.2No.3の科学研究費補助金リストに含まれなかった国際学術研究のリストである。このリストは、各研連委員が分担して、平成元年から7年度までの科学研究費研究会編「文部省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」を参照しながら地質学・地理学・古生物学・地球化学・土壌学・人類・考古学などそれぞれの分野で採択された課題を収集して作成された。

| 課題番号           | 課題名                                      | 相手国           | 代表者所属機関名      | 代表者氏名  |
|----------------|--|---------------|---------------|--------|
| 平成元年度（継続課題を含む） |  |               |               |        |
| 1041004        | 南半球極地域の永久凍土の形成とそれに及ぼす気候変動の影響             | その他・アルゼンチン・チリ | 北大・低温研・助教授    | 福田正己   |
| 1041011        | 熱帯火山地域の水循環と水利用                           | インドネシア        | 筑波大・地球科学系・教授  | 榎根 勇   |
| 1041012        | 熱帯モンスーン地域河川流域の水文特性と水管理—タイ国チャオプラヤ川の事例研究   | タイ            | 筑波大・構造工学系・教授  | 梶貝博美   |
| 1041013        | タンザニア内陸地域における地下水の重要機構とその開発に関する研究         | タンザニア         | 千葉大・理・教授      | 新藤静夫   |
| 1041016        | デドリ酒窟発掘：シリア・アフリン地溝帯における古人類学的研究           | シリア           | 東大・総合研究費・助教授  | 赤沢 威   |
| 1041020        | ブラジルのアルカリ輝岩帯に見られる希土類鉱物・放射性鉱物の調査研究        | ブラジル          | 東大・理・教授       | 床次正安   |
| 1041031        | 中国大陸におけるモンゴロイドの遺伝人類学的研究                  | 中国            | 東京医科歯科大・歯・教授  | 三浦不二夫  |
| 1041043        | アジア高山地域における比較水河研究（第3次）                   | 中国・ネパール       | 名大・水圏科学研・教授   | 樋口敬二   |
| 1041053        | 北アメリカ大陸におけるアジア関連遷移要素のフロラ並びに生態に関する調査研究    | 米国            | 京大・理・教授       | 河野昭一   |
| 1041056        | 東南アジアにおける沿岸域低湿地の土壌生態系の特性と利用可能性           | マレーシア・タイ      | 京大・農・教授       | 久馬一剛   |
| 1041062        | 中国における砂漠の農業水利開発に関する調査研究                  | 中国            | 鳥取大・農・教授      | 矢野友久   |
| 1041073        | タイ東北地方における先史時代生産遺跡の発掘調査                  | 中国・タイ・ベトナム    | 慶応大・教養・助教授    | 新田栄治   |
| 1041074        | スマトラの熱帯多雨林システムの10年間の動態                   | インドネシア        | 慶応大・理・教授      | 堀田 満   |
| 1041077        | アフリカにおけるサバンナの形成過程                        | カメルーン・ザンビア他   | 都立大・理・教授      | 門村 浩   |
| 1041081        | 急速な発達によって消失するクック諸島先史遺跡の復元と保存に関する調査       | クック諸島他        | 慶応大・文・教授      | 近森 正   |
| 1041090        | 旧大陸におけるカナート水利体系の成立過程に関する地理学的研究           | 中国・モロッコ・フランス  | 明治大・政経・教授     | 小堀 巖   |
| 1041101        | 北極圏における雪氷コアによる比較水河観測                     | デンマーク・カナダ     | 国立極地研・研究系・教授  | 渡辺興亜   |
| 継続             | 中華人民共和国における泥炭地の形成過程と生態に関する研究             | 中国            | 北大・農・教授       | 梅田安治   |
| 継続             | 太平洋民族の起源に関する人類学的研究（第2次）                  | 米国            | 国際日本文化セ・教授    | 埴原和郎   |
| 継続             | 太平洋とインド洋における海面変動の比較研究                    | インドネシア・オーストラリ | 東大・理・助教授      | 米倉伸之   |
| 継続             | 環太平洋地域における第四紀後期地震性地殻変動調査（第2次）            | チリ・ニュージーランド他  | 横浜国大・教育・教授    | 太田陽子   |
| 継続             | 陸水環境変動と気候との相互関連の研究—中国の塩湖・青海湖を対象として—      | 中国            | 北大・理・教授       | 中尾欣四郎  |
| 継続             | 台湾島東海岸の先史遺跡                              | 台湾            | 熊本大・文・教授      | 白木原和美  |
| 継続             | 西アジア先史遺跡調査                               | シリア           | 東大・東文研・教授     | 松谷敏雄   |
| 継続             | 北アナトリア断層帯西部域の断層活動に関する調査（第2次）             | トルコ           | 東京工大・理・助教授    | 本蔵雅守   |
| 継続             | カメルーン火口湖の地球化学・湖沼学的研究                     | カメルーン         | 岡山大・地球内部研セ・教授 | 日下部実   |
| 継続             | 日本と南米太平洋側の新第三紀地質学的事件の対比                  | チリ・コロンビア・ペルー  | 静岡大・理・教授      | 土 隆一   |
| 継続             | オーストラリア東部・大蛇紋岩帯の屈曲と周辺島弧性地殻の構造発達史         | オーストラリア       | 岡山大・地球内部研セ・教授 | 本間弘次   |
| 継続             | 地下集塊水の生態過程と環境変動の関連の研究                    | カナダ           | 北大・低温科学研・教授   | 藤野和夫   |
| 継続             | 日本列島との比較による北アメリカ東部文化帯の人間活動と植性動態の生態学的研究   | 合衆国・カナダ       | 横浜国大・環境科学セ・教授 | 宮脇 昭   |
| 継続             | 東部極北極先・原史エスキモー文化の研究                      | カナダ           | 目白学女子短大・助教授   | S. ヘンリ |
| 継続             | トルコにおけるプレート衝突境界の地球化学的研究—日本における沈み込み帯との比較— | トルコ・ギリシャ      | 神戸大・理・助教授     | 松田准一   |
| 継続             | クチジロジカ・中国産アカシカによるシカ属（Cervus）の進化系統分類学的研究  | 中国            | 北大・歯・助教授      | 大森司紀之  |
| 継続             | ブラジル北東部における土地利用・水利用の変遷と生態系的地域的変化         | ブラジル          | 筑波大・地球科学系・教授  | 西澤利栄   |
| 継続             | 東アフリカ諸地域の旧石器文化と古環境に関する基礎的研究              | タンザニア・ケニア     | 信州大・人文・教授     | 大参義一   |
| 継続             | アジア・太平洋地域のマングローブ生態系の生物過程と制御機構            | タイ・インドネシア他    | 愛媛大・農・教授      | 荻野和彦   |
| 平成2年度          |  |               |               |        |
| 2041001        | 熱帯深湖の深水層擾乱機構に関する湖沼物理学的研究                 | ザイール          | 北大・理・教授       | 中尾欣四郎  |
| 2041002        | カナダ北極海周辺における地下水賦存地域の自然環境の研究              | カナダ・米国        | 北大・低温科学研・教授   | 藤野和夫   |
| 2041003        | カナダ東部における酸性の融雪水の流出機構                     | カナダ           | 北大・低温科学研・教授   | 小林大二   |
| 2041004        | アンデス南部・パタゴニア地域における近年の水河変動の特性             | チリ・アルゼンチン     | 北大・低温科学研・助教授  | 成瀬廉二   |
| 2041008        | アフリカ大陸におけるホットスポット火山活動の地球物理学的研究           | ザイール・ケニア他     | 東北大・理・教授      | 浜口博之   |
| 2041011        | シリアにおける農耕文化の展開                           | シリア           | 筑波大・歴史人類学系教授  | 岩崎卓也   |



| 課題番号         | 課題名                                      | 相手国          | 代表者所属機関名      | 代表者氏名  |
|--------------|--|--------------|---------------|--------|
| 2041022      | デカン玄武岩の地学的研究                             | インド          | 東大・地質研・教授     | 荒巻重雄   |
| 2041031      | 環太平洋地域における第四紀後期地震性地殻変動調査―第3次調査―          | チリ・ニュージーランド他 | 横浜国大・教育・教授    | 太田陽子   |
| 2041043      | 中国西北部砂漠地帯での水収支の研究                        | 中国           | 京大・防災研究所・教授   | 池淵周一   |
| 2041044      | 韓半島―日本列島広域地震観測                           | 韓国           | 京大・理・教授       | 尾池和夫   |
| 2041045      | クック諸島におけるポリネシア人の初期移住に関する研究 (第2次)         | ニュージーランド他    | 京大・理・助教授      | 片山一暁   |
| 2041077      | 古代都市キシュの発掘調査―古代メソポタミア文明の考古学的研究―          | イラク          | 国士館大・教授       | 藤井秀夫   |
| 2041081      | 北極圏スバルバル諸島における周氷河地形の形成機構                 | ノルウェー        | 明治大・文・教授      | 小嶋 尚   |
| 2041082      | アラビア湾岸における先史文化の交流                        | カダフルパキスタン他   | 立教大・文・教授      | 小西正徳   |
| 2041088      | カール湖堆積物によるネパールヒマラヤの最終氷期以降の植生変遷の解析        | ネパール         | 流通科学大・客・講師    | 雨木啓彦   |
| 2041089      | イスラエルにおける宗教考古学                           | イスラエル        | 天理大・教養・教授     | 金岡 聡   |
| 2041103      | サウジアラビアにおける古代都市文明の考古学的研究                 | サウジアラビア・イラク他 | オリエント博物館研究員   | 堀 暁    |
| 2041104      | アフリカ乾燥帯における叢生類の進化生態学的研究                  | エテイオピア他      | 日本モンキーセ       | 河合雅雄   |
| 2141095      | 台湾先住少数民族・高山族の人類遺伝学                       | 台湾           | 国立遺伝研・助手      | 宮来 聰   |
| <b>平成3年度</b> |  |              |               |        |
| 3041014      | メキシコ西部のリフトに伴う沈み込み帯火山活動                   | メキシコ         | 東北大・理・教授      | 青木謙一郎  |
| 3041016      | 東南アジア熱帯地域の水文・水資源特性と流域管理―タイとマレーシアの調査研究    | タイ・マレーシア     | 筑波大・構造工学系・教授  | 椎貝博美   |
| 3041035      | ヒマラヤ産木本植物の木材組織の系統学的研究                    | ネパール         | 金沢大・教養・助教授    | 鈴木三男   |
| 3041038      | チベット高原の水循環における雪氷の役割                      | 中国           | 名大・水圏科学研・教授   | 上田 豊   |
| 3041042      | フィリピンでの超高性能地震観測と西太平洋地域グローバル地震観測網の構築      | フィリピン        | 京大・防災研・教授     | 安藤雅孝   |
| 3041045      | 東アフリカにおける人類と現生類人猿の起源に関する研究               | ケニア・ザイール他    | 京大・理・教授       | 石田英実   |
| 3041066      | アフリカにおけるサバンナの形成過程 (調査総括)                 | カメルーン・ザンビア   | 東京都立大・理・教授    | 門村 浩   |
| 3041073      | ベトナム北部における青銅器時代文化の研究―とくにマー河・カー河流域を中心として  | ベトナム         | 上智大・文・教授      | 豊博満    |
| 3041089      | 北極圏における大気―雪氷相互作用とその変動の研究                 | ノルウェー・デンマーク他 | 国立極地研・教授      | 渡辺剛亜   |
| 3041092      | トルコ・シリアの環境変遷史と文明の盛衰                      | トルコ          | 国語日本文化研セ・助教授  | 安田喜憲   |
| <b>平成4年度</b> |  |              |               |        |
| 4041013      | 日本・ソビエト両国によるオホーツク海・サハリン沖海水の共同調査          | ロシア          | 北大・低温研・教授     | 青田昌秋   |
| 4041014      | 気候変動がシベリア永久凍土地域の凍土圏・生物圏に与える影響の研究         | ロシア・カザフスタン   | 北大・低温研・教授     | 福田正己   |
| 4041017      | 中華人民共和国雲南省の各気候地域における最終氷期以降の古環境の復元        | 中国           | 弘前大・教養・教授     | 牧田肇    |
| 4041020      | 海面の急激な上昇におけるマングローブ林の立地の維持                | フィリピン        | 東北大・理・助教授     | 菊池多賀夫  |
| 4041023      | 湿潤熱帯植生系における水循環                           | インド・スリランカ    | 筑波大・地球科学系・教授  | 榎根 勇   |
| 4041029      | 中緯度の気象・気候に与える極気団の形成と活動に関する研究             | カナダ          | 東大・海洋研・助教授    | 木村竜二   |
| 4041030      | デカン洪水玄武岩の地学的研究                           | インド          | 東大・地質研・教授     | 藤井敏嗣   |
| 4041035      | バイカル湖の動物群集と進化系統学・環境変動の研究                 | ロシア          | 東海大・海洋・教授     | 沼知健一   |
| 4041038      | 湿潤および乾燥ヒマラヤでの高山帯植物相の比較研究                 | パキスタン・インド    | 東大・総合研究責・助教授  | 大場秀章   |
| 4041046      | 北アナトリア断層帯西部域の断層活動に関する調査 (第3次)            | トルコ          | 東京工大・理・助教授    | 本藏敏守   |
| 4041048      | バブアニューギニア北東岸のサンゴ礁段丘からみた第四紀海面変化と地殻変動の研究   | バブアニューギニア他   | 横浜国大・教育・教授    | 太田陽子   |
| 4041049      | 開発に伴うアジア地域の沿岸環境変化の調査                     | タイ・ベトナム・他    | 横浜国大・工・助教授    | 柴山知也   |
| 4041051      | インド半島マハナディ地溝帯及びゴダヴァリ地溝帯の地史とプレートテクトニクスの研究 | インド          | 富山大・理・教授      | 広岡公夫   |
| 4041055      | 南千島―マリアナ海溝太平洋側への高性能地震観測網の展開              | イタリア・アメリカ    | 名大・理・教授       | 山田功夫   |
| 4041062      | アフリカ熱帯多雨林の持続的利用に関する研究                    | ザイール・コンゴ他    | 京大・アフリカ研セ・助教授 | 市川光雄   |
| 4041064      | バングラデシュ国における洪水・砂潮災害とその被害軽減に関する調査研究       | バングラデシュ      | 京大・防災研・助教授    | 岡 太郎   |
| 4041065      | 熱帯多雨林の大規模火災後の植生回復過程の総合的解析                | インドネシア       | 京大・叢生類研・助教授   | 東 滋    |
| 4041076      | 熱帯アジアにおける南西モンスーン長期変動と環境変遷                | インド・タイ       | 広島大・文・教授      | 藤原健蔵   |
| 4041079      | 中国の古代稲・稲作農耕文化に関する遺伝・育種学及び考古学的調査研究        | 中国           | 佐賀大・農・教授      | 和佐野喜久生 |
| 4041080      | 中国における古人骨の人類学的調査研究                       | 中国           | 長崎大・医・助教授     | 松下孝幸   |
| 4041085      | フィリピン中部海域におけるオウムガイの地理的変異と生息環境            | フィリピン        | 鹿児島大・理・教授     | 早坂祥三   |
| 4041087      | サヤン・アルタイ山脈の高山フロラに関する植物学的研究               | ロシア          | 東京都立大・理・助教授   | 若林三千男  |
| 4041089      | レーダーリモートセンシングによる熱帯泥炭林の特性把握と環境修復に関する研究    | マレーシア        | 京都府立大・農・教授    | 米森甲陽   |
| 4041095      | 西域南道仏教遺跡及び仏教文献の総合的研究                     | 中国           | 佛光大・文・助教授     | 真田康道   |
| 4041099      | 伝統イヌイット (エスキモー) 文化の生業活動に関する民族考古学的な研究     | カナダ          | 目白学園女子短大・助教授  | S・ヘンリー |
| 4041100      | 中国湖南省武陵源区における地域開発による農村の変容と環境問題           | 中国           | 富山県立短大・教授     | 足立原真   |
| 4041101      | 東南アジア・中国南部の伝統的土器作りの研究                    | タイ・インドネシア他   | 国立歴史民俗博・助教授   | 小野正敏   |

## 第四紀研究連絡委員会から

| 課題番号         | 課題名                                     | 相手国           | 代表者所属機関名      | 代表者氏名 |
|--------------|---|---------------|---------------|-------|
| 4041104      | ガンダーラ地方における古代都市と交易路に関する考古学的・美術史学的研究     | パキスタン         | 東京国立博・東洋部長    | 西岡麻宏  |
| 4041106      | タイ国石造遺跡の劣化現象と保存処置に関する調査                 | タイ            | 東京国立文化財研・室長   | 西浦忠輝  |
| <b>平成5年度</b> |   |               |               |       |
| 5041016      | カンボジア・アンコール・トム遺跡学術調査                    | カンボジア         | 上智大・アジア文化研・教授 | 石澤良昭  |
| 5041018      | ブルガリア青銅器時代遺跡の考古学的研究                     | ブルガリア         | 東海大・文・教授      | 関根孝夫  |
| 5041019      | アラビア湾岸における古代都市の考古学的研究                   | アラブ首長国連邦他     | 立教大・文・教授      | 小西正捷  |
| 5041027      | 古代都市ポンペイの形成と機能に関する総合的調査                 | イタリア          | (財)古代学協会教授    | 浅香 正  |
| 5041053      | 中国南部雲南省地熱帯の地質化学的研究                      | 中国            | 東大・理・教授       | 脇田 宏  |
| 5041054      | 東アジアにおける活断層と地震テクトニクスの比較研究               | 中国            | 東大・理学系研究科・教授  | 米倉伸之  |
| 5041056      | エーゲ火山弧の地球化学的調査研究                        | ギリシャ          | 東大・理・助教授      | 野津憲治  |
| 5041059      | アイスランドの火山岩を用いた地磁気変化史及びマグマ形成史の研究         | アイスランド        | 東大・理学系研究科・教授  | 河野 長  |
| 5041061      | 大学等におけるIGCP実行にともなう国際対応                  | スウェーデン・米国他    | 名大・大気水圏科学研・教授 | 松本英二  |
| 5041063      | サハラ南緯地帯における土地荒廃                         | ニジェール・カメルーン他  | 東京都立大・理・教授    | 門村 浩  |
| 5041065      | 東南アジアにおける沿岸域生態系の特性と修復—ラグーン地域に焦点を置いて—    | タイ・インドネシア     | 東京農業大・生産生物・教授 | 森原 達  |
| 5041069      | 北極圏氷圏変動を示すコア気候—環境シグナルの研究                | スバルバル群島他      | 国立極地研・教授      | 渡辺興亜  |
| 5041076      | アジアの歴史的建造物の修復・保存方法に関する基礎的研究             | タイ・ミャンマー・インド他 | 早稲田大・理工・教授    | 中川 武  |
| 5041082      | 分子生物学的手法を用いた東南アジア基層集団の人類学的研究            | タイ・シンガポール     | 東大・理学研究科・助教授  | 植田信太郎 |
| 5041092      | 先史ポリネシア人の拡散と変容に関する自然人類学的研究              | クック群島・トンガ他    | 京大・理・助教授      | 片山一 道 |
| 5041096      | コラート高原における人間・環境・作物複合の総観的研究              | タイ・ラオス        | 京大・東南アジア研・教授  | 福井捷朗  |
| 5041102      | 地球規模炭素循環におけるミッシング・シンクの解明                | マレーシア・タイ      | 大阪市立大・理・教授    | 依田恭二  |
| <b>平成6年度</b> |   |               |               |       |
| 6041018      | シリア先史遺跡調査                               | シリア           | 東大・東洋文化研・教授   | 松谷敏雄  |
| 6041024      | ハワイ島キラウエア火山における火山性地震・微動の発生機構の究明         | 米国            | 東大・地震研・教授     | 井田喜明  |
| 6041026      | インド洋のホット・スポット火山の活動とその起源に関する研究           | レユニオン・モーリシャス  | 東大・地震研・教授     | 兼岡一郎  |
| 6041029      | エチオピア南部・コンソ・ガルドウラ遺跡群の古人類学調査：初期ホモ属の進化と適応 | エチオピア・ケニア     | 東大・理学系研究科講師   | 諏訪 元  |
| 6041045      | 西部太平洋沿岸性甲殻類の生物地理とその成立過程                 | オーストラリア他      | 静岡大・理・教授      | 池谷仙之  |
| 6041051      | ヒマラヤ氷圏における地球温暖化による影響評価の基礎的研究            | ネパール・中国       | 名大・大気水圏研・助教授  | 中尾正義  |
| 6041052      | カナダ北極海群島の第三期森林化石の発掘結果取りまとめ              | カナダ           | 名大・農・助教授      | 末田達彦  |
| 6041060      | 韓国南東部の活断層における大地震再来時間の評価                 | 韓国            | 京都市大・理・教授     | 尾池和夫  |
| 6041079      | ユーラシアおよび北アメリカの新生代後期哺乳動物群と古環境の変遷史        | 中国・米国・スウェーデン他 | 香川大・教育・助教授    | 仲谷英夫  |
| 6041084      | 中国における古人骨の人類学的調査研究                      | 中国            | 長崎大・歯・教授      | 六反田篤  |
| 6041088      | タイの製鉄・製塩に関する民俗考古学的研究                    | タイ・中国・ラオス他    | 鹿児島大・教養・教授    | 新田栄治  |
| 6041095      | ミクロネシア・ファイス島の埋葬遺跡における発掘予備調査             | ミクロネシア        | 北海道東海大・助教授    | 印東道子  |
| 6041101      | 長江下流域における考古学的研究調査                       | 中国            | 上智大・文・教授      | 董 博満  |
| 6041117      | ジャワ島出土原人化石の古人類学的調査                      | インドネシア        | 国立科学博・室長      | 馬場悠男  |
| 6041124      | 熱帯における野生および栽培種の伝播および集団の動態に関する研究         | ラオス・バングラデシュ他  | 国立遺伝学研・助手     | 平岡洋一郎 |
| 6044005      | 大西洋中央海嶺に起きる群発地震の海底地震観測                  | アイスランド・フランス   | 北大・理・教授       | 島村英紀  |
| 6044015      | 堆積学的アプローチによる歴史津波の検証手法の開発                | 英国            | 東北大・工・教授      | 首藤伸夫  |
| 6044038      | 朝鮮古代都市の研究                               | 韓国            | 東大・文・教授       | 武田幸男  |
| 6044047      | 地球規模の気候変動研究に関する国際協力                     | スイス・米国・ドイツ他   | 東大・気候システムセ・教授 | 住 明正  |
| 6044050      | 国際海嶺共同研究—海嶺活動と地球ダイナミクス                  | 米国・英国・フランス他   | 東大・海洋研・助教授    | 藤本博巳  |
| 6044051      | 深海掘削試料解析・孔内長期観測による海洋底の構造と進化の研究          | 米国・オーストラリア他   | 東大・海洋研・教授     | 平 朝彦  |
| 6044092      | バイカル湖湖底堆積物コア試料の地球科学的研究                  | ロシア・スイス・米国    | 名大・工・教授       | 原口 紘  |
| 6044109      | 日中共同乾燥地域自然環境モニタリング計画                    | 中国            | 京都大・防災研・教授    | 光田 暉  |
| 6044119      | 大規模高速地滑りの発生・運動予測法の開発                    | カナダ・中国他       | 京都大・防災研・教授    | 佐々 恭二 |
| <b>平成7年度</b> |   |               |               |       |
| 7044010      | 東アジアにおける土器の起源に関する国際共同調査                 | ロシア・中国・香港     | 国学院大・文・教授     | 加藤晋平  |
| 7044015      | 日中古代金属遺物の年代および産地に関する自然科学的比較研究           | 中国            | 専修大・経営・教授     | 田口 勇  |
| 7044016      | 中国砂漠地帯における文化財の保存対策に関する共同研究              | 中国            | 東京国立文化財研・研究員  | 宮本長二郎 |
| 7044071      | 北アトリア断層帯西部域の地震活動予測に関する総合的研究             | トルコ           | 東京工業大・理・教授    | 本藏義守  |
| 7044187      | 分子人類学…現代人の起源と拡散                         | 米国・ドイツ        | 総合研究大学院大・教授   | 高畑尚之  |
| 7045028      | 海面上昇による環日本海沿岸域の海岸浸食とその防御に関する研究          | 韓国            | 鳥取大・工・教授      | 野田英明  |
| 7041002      | セレンゲティにおける後期石器時代サバンナ狩猟採集社会の復元的研究        | タンザニア・ケニア     | 筑波大・歴史・人類学系助教 | 西田正規  |
| 7041004      | イタリア中部の古代ローマ美術・考古学調査                    | イタリア          | 東大・文・教授       | 青柳正規  |
| 7041006      | ラロ貝塚群の発掘調査 東南アジア島嶼部先史時代の考古学的研究          | フィリピン         | 東京外国語大・外国語・講師 | 小川英文  |

| 課題番号    | 課題名                                     | 相手国         | 代表者所属機関名      | 代表者氏名  |
|---------|---|-------------|---------------|--------|
| 7041021 | 中国北部の美術・考古学調査                           | 中国          | 共立女子大助教授      | 谷 一尚   |
| 7041022 | 南太平洋クック諸島における文化遺産の保存と継承に関する調査研究         | クック諸島       | 慶應義塾大・文・教授    | 近森 正   |
| 7041025 | エジプト・アラブ共和国 アブ・シール南地区における丘陵頂部および周辺遺跡の調査 | エジプト        | 早稲田大・人間科学・助教授 | 吉村作治   |
| 7041027 | 西域南道ニヤ遺跡群の総合的研究                         | 中国          | 佛教大・文・助教授     | 真田麻道   |
| 7041028 | 遊牧騎馬民族文化の生成と発展過程の考古学的研究                 | 中国          | 大手前女子大・文・教授   | 秋山進午   |
| 7041036 | 稲作文化の起源と発展に関する環境考古学的研究                  | 中国          | 国際日本文化研究セ・教授  | 安田喜憲   |
| 7041037 | モンゴルにおける民族形成の歴史民族学的研究                   | モンゴル        | 国立民族学博・教授     | 松原正毅   |
| 7041078 | 地球規模の気候変動が北東シベリア永久凍土地域の凍土圏・生物圏に与える影響の研究 | ロシア         | 北大・低温科学研・教授   | 福田正己   |
| 7041079 | アフリカ大陸におけるホットスポット火山活動の地球物理学的研究（総括）      | ザイール        | 東北大・理・教授      | 浜口博之   |
| 7041083 | 環オホーツク海地域の後期新生代の古環境変遷                   | ロシア         | 筑波大・地球科学系教授   | 小笠原憲四郎 |
| 7041085 | ニュージーランドにおける中生代および新生代の含放射虫岩の地質学的研究      | ニュージー       | 宇都宮大・教養・教授    | 酒井豊三郎  |
| 7041089 | 東太平洋海盆下溶融体構造に関する電磁気学・地震学的調査             | 米国・オーストラリア他 | 東大・教授         | 浜野洋三   |
| 7041095 | カナリア諸島火山の地球化学的研究                        | スペイン        | 東大・理・教授       | 駒田 宏   |
| 7041136 | 南米大陸における霊長類の系統進化に関する研究                  | コロンビア・米国    | 京大・理・教授       | 瀬戸口烈司  |
| 7041137 | 東アフリカにおける類人猿の進化と人類起源の研究                 | ケニア         | 京大・理・教授       | 石田英實   |
| 7041153 | タイ王国サイヨック地域における完新生初頭人類の発掘調査             | タイ          | 国立科学博物館研究員    | 松村博文   |
| 7041171 | 南米先住民族の人類遺伝学的研究                         | チリ          | 愛知県がんセンター     | 田島和雄   |

## ■ 北海道大学低温科学研究所教官公募について

1. 公募人員：リモートセンシング・助手 1名
2. 研究内容：リモートセンシングを用いて寒冷圏の自然環境（雪氷、海洋、植生等）を研究しようとする人を希望します。
3. 着任時期：決定後なるべく早い時期
4. 提出書類：1. 履歴書  
2. 研究業績リスト  
3. 主要論文別刷3編以内（リストに丸印）  
4. これまでの研究概要（A4版1枚）  
5. これからの研究展望（A4版1枚）  
6. 推薦書又は応募者についての意見を聞ける人1～2名の氏名及び連絡先
5. 公募締切：平成8年4月30日（火）必着
6. 書類提出先：〒060 札幌市北区北19条西8丁目  
北海道大学低温科学研究所 所長 秋田谷 英次
7. 問い合わせ先：北海道大学低温科学研究所 教授 小林 大二  
TEL: 011-706-6891, FAX: 011-706-7142
8. その他：封筒に「助手（リモートセンシング）応募」と朱書し、書留でお送り下さい。

## ■ 1995年度第2回評議員会議事録

日時：1996年1月20日 15:00～17:00

場所：東京大学総合研究資料館

議長：増田富士雄

出席者：鎮西清高（会長）、赤羽貞幸、麻生優、新井房夫、海津正倫、遠藤邦彦、太田陽子、大野正男、小野昭、織笠昭、菊地隆男、小池裕子、斉藤享治、坂上寛一、末永和幸、杉山雄一、辻誠一郎、陶野郁雄、増田富士雄、松島義章、松田時彦、山崎晴雄、吉川周作、米倉伸之（以上評議員）、松井健（会長経験者）；委任状9通。

### 1. 報告事項

#### 1. 1995年度事業中間報告

##### 1-1. 庶務

(1) シンポジウム・講演会等の協賛・後援  
火山工学フォーラム－火山とつきあう（1995.9.26.: 土木学会）海洋調査技術学会第7回研究成果発表会（1995.11.9-10.: 海洋調査技術学会）基礎研究の振興と科学技術教育シンポジウム（1995.12.18.: 日本工学会・日本工教育協会）第3回アジア学術会議－科学者フォーラム（1996.3.25-28.: 日本学術会議）

(2) 1996年度文部省科学研究費刊行助成金の申請を行った。

##### 1-2. 編集

(1) 「第四紀研究」34巻3号、4号を編集・刊行した。34巻5号は印刷中で1月末に刊行予定、35巻1号は1月末に印刷にかかる。現在、受理論文は1編、審査中の論文は15編である。

(2) 新潟総会のシンポジウム特集号（編集委員長；小林巖雄）は、35巻3号に刊行予定で編集を進めている。

(3) 1995年地球惑星科学合同大会シンポジウム「湖沼堆積物」の小特集号（編集委員長；遠藤邦彦）は、「第四紀研究」通常号に3回にわけて掲載予定で編集を進めている。

(4) 第四紀研究への投稿論文が少ないので、大会発表者に投稿の呼びかけ文書を送付する。会員諸氏からの論文投稿をお願いする。

(5) 編集委員会委員の増員など編集体制の検討を進めている。

(6) 執筆要領の改訂、第四紀研究A4判化を検討している。

### 1-3. 行事

(1) 神奈川県立「生命の星・地球」博物館の見学会を10月22日に行った。

(2) 第四紀学会特別講演会「石器を測る－石器器体角度研究と石器文化論の新展開－」（講演者；織笠昭）を1月20日に東京大学総合研究資料館で開催した。

(3) 日本第四紀学会春季学術大会（地球惑星科学関連学会合同大会固有セッション）（3月28日午前；大阪大学）の準備をした。

(4) 1996年度大会は、東京大学（準備委員長；米倉伸之）にて、8月22日（研究発表、評議員会）、23日（研究発表、総会、懇親会）、24日（シンポジウム）開催する。シンポジウムのテーマは、「最終氷期の終焉と縄文文化の成立・展開」（世話人；米倉伸之、辻誠一郎、岡村道男）である。

### 1-4. 企画

(1) 第四紀露頭集編集委員会（委員長代行；遠藤邦彦）による「第四紀露頭集」については、10～11月に原稿依頼をし、8月末までに出版する予定で編集作業を進めている。

(2) 第3回講習会「テフロクロロジー」（講師；鈴木毅彦）を11月11-12日に実施した。内容は、野外巡検（大磯、相模、多摩）と室内分析（東京都立大学）であった。

### 1-5. 会報

(1) 「第四紀通信」2巻5号、6号、3巻1号刊行

(2) 裏表紙に広告を掲載することを検討した。

(3) 文部省学術情報センターのWWWサーバによる学協会の情報公開を検討した。

## 2. 1995年度会計中間報告

1996年1月16日現在の収支試算表が示され、以下の点について報告された。

(1) 全体的に収入・支出とも順調である。

(2) 会費収入は順調である。

(3) 別刷印刷代が2号分で既に273,168円に達し、予算額の150,000円を超過している。これは、新しい印刷会社（日本印刷）の別刷代単価が前の印刷会社より高いため。1年間の別刷代がどの程度になるか、見極めた上で対処法を幹事会・評議員会に諮りたい。なお、34巻3号については特集号であり、論文数が多かったことで、5号分が単純に2.5倍になるわけではない。

(4) 雑費の中に、地球惑星科学関連学会用の会員データFD移行費80,134円を含めた。

(5) 研究委員会助成金については、研究委員会の承認後、均等に配分する予定



## II. 審議事項

### 1. 会長推薦幹事の増員について

1995年8月26日の総会で改正された会則、第9条、第10条により、会長推薦幹事を1名、増員できるようになり、小野 昭 会員を会長推薦幹事とすることが承認された。

### 2. 名誉会員選考委員会の設置について

1996年は日本第四紀学会の40周年で、またここ20年間名誉会員の推挙がないことから、名誉会員候補者選考規定(1975年11月17日)に基づき、名誉会員候補者選考委員会を設けることが承認された。委員は小田静夫、菊地隆男、小泉武栄会員を会長が委嘱することとした。

### 3. 論文賞選考委員の承認について

学会賞規定に基づき、会長が推薦した5名の論文賞受賞候補者選考委員会の設置が承認された。なお、受賞候補者の推薦書類は、1996年度に限り4月末までにすることが了承された。

### 4. 研究委員会の承認について

テフラ研究委員会(委員長:町田 洋), 上・中・下部更新統境界に関する研究委員会(委員長:熊井久雄), INQUA/GLOCOPH 対応研究委員会(委員長:門村 浩), 海岸線研究委員会(委員長:大村明雄)の継続, PAGES-PEP(鮎)対応委員会(委員長:小野有五)の新設が認められた。応用第四紀研究委員会(委員長:太田陽子)は活動を終了した。

### 5. 1997年度大会の開催地について

1997年度大会を北海道大学(準備委員長:小野有五, 世話役:平川一臣)で8月上旬開催することが承認された。

### 6. 第四紀通信の広告掲載について

第四紀通信3巻2号から、最終頁(裏表紙)に広告を掲載することが、了承された。

### 7. 学協会の情報公開について

文部省学術情報センターのインターネットWWWサーバによる学協会の情報公開について、具体的に検討し、本学会の情報公開への参加について次回の評議員会までに会員の意見をきく。

## III. その他

太田陽子INQUA副会長から、4月中頃、ボンで執行部会議があるので、INQUAに対する要望があれば、伝えて欲しいとの要請があった。また、Quaternary Research には、北アメリカの第四紀研究者のリストが掲載されたが、日本人のリストを作成するかどうか、検討して欲しいとの要望があった。

## IV. 研連報告(米倉伸之第四紀研連委員長)

相馬寛吉研連委員の逝去に伴い、坂上寛一会員が委員となった。ベルリンでのINQUA大会の報告が第四紀研究35巻1号に掲載する。地質科学総合研連から、大学における地質科学の教育の振興および科研費補助のために、地質科学関連学協会連絡協議会(世話学会は日本地質学会, 世話人は佐藤 正)を発足させ、第四紀学会も協力して欲しい。地質系教室の改組に関連し、大学の第四紀学関係のカリキュラム調査を行った。アジア・太平洋地域の交流・情報交換のため、国際シンポジウムを1997年の予定で、準備を進めている。

## ■ 第4回幹事会 議事録

日時:1996年1月20日 12:00~13:30

場所:東京大学総合研究資料館

出席者:鎮西清高(会長), 米倉伸之(副会長), 小野昭, 小池裕子, 齊藤享治, 坂上寛一, 杉山雄一, 辻 誠一郎, 山崎晴雄, 吉川周作(以上幹事)

議題:第2回評議員会の打ち合わせ

## ■ 日本文化財科学会第13回大会・1996年度総会のお知らせ

日時:1996年6月15日(土)・16日(日)

会場:東京学芸大学(中央線・武蔵小金井駅)

「特別セッション」:近世のやきものの産地と流通

「一般研究発表」の発表分野:(1)年代測定(2)古環境(3)材質・技法  
(4)産地(5)保存科学(6)文化財科学一般

問い合わせ:日本文化財科学会 第13回大会実行委員会 事務局

東京学芸大学教育学部文化財科学科

〒184東京都小金井市貫井北町4-1-13

0423(25)2111(内線)2703木下研究室(内線)2708服部研究室

Fax 0423(24)9832 第三部事務局



■ 「第四紀通信」編集事務局から

「第四紀通信QR Newsletter」Vol.3, No.2  
の発行が大変遅れたことをお詫びいたします。

編集幹事の電話番号がダイヤルイン方式の導  
入により下記に変更になりましたのでお知らせ  
いたします。

なお本号から裏表紙に広告を入れることにな  
りました。ご協力をお願いいたします

編集幹事： 小池裕子

〒810 福岡市中央区六本松4-2-1

九州大学大学院比較社会文化研究科

TEL & FAX 092-726-4847

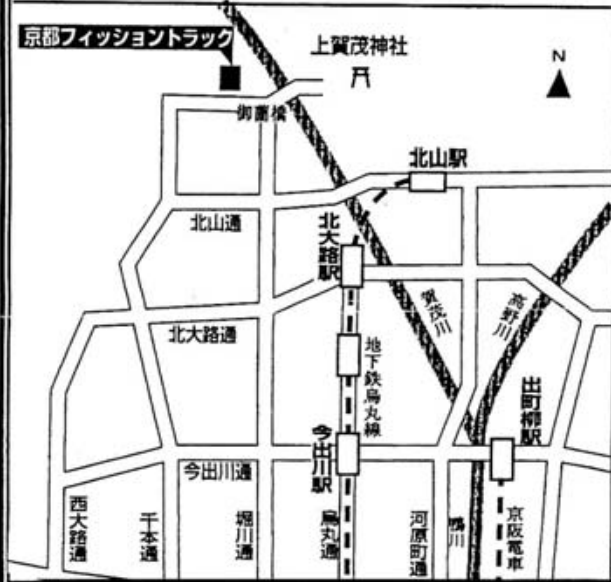
e-mail : koikegsc@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

# 移転のお知らせ

## (株)京都フィッシュン・トラック

〒603京都市北区大宮南田尻町44-4

TEL:075-493-0684, FAX:075-493-0741



このたび、小社スタート以来14年間の活動拠点となった京都市右京区梅津から、4月1日より下記住所へ移転いたします。移転に伴い、住所だけでなく電話・ファクシミリ番号も変わります。

この移転を機に、一層の技術向上と革新を図り皆様のご期待にお応えしたいと考えております。

今後ともよろしくご期待申し上げます。

*Paleoenvironment Research Institute Co.,Ltd*

## 株式会社 古環境研究所

タイムトラベル

しょうたい

### 時間旅行への招待

本社：〒331埼玉県大宮市土屋1795-24

Tel 048-622-0389 Fax 622-9187

前橋研究所：〒371群馬県前橋市総社町総社1540

Tel 0272-51-0709 Fax 53-8171

奈良研究所：〒632天理市田井庄町303-4-201

Tel 07436-3-3341 Fax 3-3465

宮崎研究所：〒880 宮崎県 宮崎市 赤江1417

Tel 0985-51-7784 Fax 50-7142

地形・地質調査・現地試料採取

テフラ（火山灰）分析・土壌理化学分析

放射性炭素年代測定（加速器質量分析）

植物珪酸体（プラント・オパール）分析

花粉分析・種実同定・樹種同定

寄生虫卵分析・植物遺体DNA分析

その他の各種分析